

# Bonjour

ボンジュール!!

2017年  
4月13日号

Vol.352



## 4月の見通し 株式への強気姿勢を維持

### ● トランプ政権のつまづき

3月24日、トランプ政権は医療保険制度改革法(オバマケア)を改廃する代替法案の採決を断念しました。これにより、トランプ政権の政策遂行能力には疑問符がついたといえますが、次に取り組むのが税制改革です。トランプ大統領は、現在35%の法人税率を15%に引き下げることや中国やメキシコなどで製造された製品が米国に輸出される際に多額の関税を課す「国境税」を提唱していますが、トランプ政権と議会が税制改革で合意に至るには、紆余曲折が予想されます。

### ● 緩和から引き締めへ

3月の米連邦公開市場委員会(FOMC)で市場予想通り0.25%の利上げが実施されました。また、4月5日に発表された3月のFOMC議事録では、大半の参加者が年内にも米連邦準備制度理事会(FRB)のバランスシート縮小を開始することを支持したことが明らかになりました。米国は、「量」の面でも金融政策の正常化に舵を切ろうとしています。欧州中央銀行(ECB)も、2017年12月末を期限とした量的金融緩和政策を実施しています。欧州経済の回復基調が続くなか、金融政策の正常化に向けた議論がいずれ始まるでしょう。中国でも、資本の流出や不動産バブルの抑制を目的として短期金利を引き上げています。

**世界的に金融政策は引き締め方向に向かいつつありますが、背景にあるのは世界的な景気の拡大です。**

### ● 相場は夢と現実の間で揺れ動く

トランプ政権の政策遂行能力への懸念や世界的に引き締め方向に向かいつつある金融政策、欧州の政治リスクなど、株式市場に逆風となる材料には事欠きません。しかし、世界の株式市場は、意外と堅調に推移しています。

**これは、世界的な景気回復が相場変動の主役に躍り出たことの証であると考えられます。**ただし、「相場は夢と現実の間で揺れ動く」という相場の格言にもある通り、株価に反映されている「夢」と「現実」の見極めは重要です。**米国**では、政策の実行性、インフレ圧力や市場予想以上の利上げ等のリスクを過小評価している可能性があり、幾分「夢」に現を抜かしている恐れもあります。

一方、**欧州や新興国**の株価が堅調なのは、良好なファンダメンタルズという「現実」がしっかりと評価されていることを示唆しています。こうしたなか、損な役回りを演じているのが**日本**株式です。景気は回復基調にあり、企業の業績見通しも堅調ですが、円高や外国人投資家の動きに翻弄され、足元の株価は冴えません。**市場が「現実」を上手く捉えていないとすれば、買いの好機と見ることもできるの**かもしれませんね。

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものではありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。